

後援

会

た

よ

イムマヌエル
聖宣神学院後援会
http://btc.jp/

主の憐みに望みを置いて



会長 中山朝雄
(中目黒教会)

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、ご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」ルカ一〇章二節

二〇二〇年はコロナウイルス騒動で始まり、コロナとインフルエンザのダブルパンチの中で年末を迎える試練の年と記憶される様相です。人間の目には見えないウイルスとの闘いは、私達のこれまでの生活スタイルや経済活動にも大きく変化を迫っており

私達クリスチャンにとっても、いつものように教会に集って礼拝や集会を持つことができない事態となりつつあります。

毎週当たり前教会で礼拝を守り、お交わりをしていた事が如何に幸いな恵であったかを身をもって教えていただきました。

そして、このコロナ禍の中にあつて、一人一人が主との関係をじっくり問い直す大変辛い時ともなりましたのではないかと感謝しております。

一方、私達教団にとっても今年創立七十五年の節目を迎え、来し方を主の前に謙虚に振り返り問い直し、見直す時が来ているのではないのでしょうか！

現在、当教団にとって献身者がなかなか与えられないという厳しい現実を突きつけられております。

五年前になりますが、教団創立七〇周年記念全国青年大会を実施するにあたり、青年委員のアンケート調査を全教団員に実施し、二一、二〇〇名から回答を頂きました。その結果、関心

度が高かったベストスリーは、①献身②結婚③カルトです。この結果から教団員の多くの兄弟が真実に主への献身について日々問い続けながら信仰生活を営んでおられます。その時の二名の青年委員が献身し、現在牧師献身とは、自分を全て主に捧

目次	
会長略言.....	1
祈りの課題.....	1
後援会経済面で自立.....	2
世話人ひと言メッセージ.....	3
神学生の経済支援.....	4
教師陣に、聞く.....	5
神学院に入学して.....	5
推進委員からひと言.....	6
学歌コラム.....	6
編集後記.....	6

度が高かったベストスリーは、①献身②結婚③カルトです。この結果から教団員の多くの兄弟が真実に主への献身について日々問い続けながら信仰生活を営んでおられます。その時の二名の青年委員が献身し、現在牧師献身とは、自分を全て主に捧

げて日々歩む事で、基本的に私達クリスチャンは献身生活を送っている者ですが、その信仰生活の中で神学校に入り伝道者となる直接献身は、神様が最も喜ばれる献身です。

神様は主の御用に必要なる器を教会より召し出され、それに兄弟が応えるという摂理で献身者が与えられてきました。当教団の現状を見ますと高齢牧師の引退が毎年のように続く中、献身者がなかなか興ざれないという現状から、新たにイザヤ書五十九章一、二節が心に迫りま

「一見よ主の手が短くて教えないのではない。その耳が遠くで聞こえないのではない。むしろ、あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。」

私達の熱心な祈りがまだまだ足りないのでしょうか。しかし、神様は私達の人間の一生懸命の故に与えてくださる様な成実主義の神様は当教団を必要とさ

◆日々お祈りください

- ①献身に導かれる方が与えられるように。
- ②神学生の学びと訓練が祝されるように。
- ③教師、職員、スタッフが恵みによって尊く用いられるように。
- ④BTCキャンパスが教団施設として、ベテルハウスとともに尊く用いられるように。
- ⑤新しく神学院院長に就任された林正弘先生が霊肉共に祝され、守られますように。
- ⑥同窓生の先生方が尊く用いられるように。
- ⑦神学院の必要が豊かに満たされるように。
- ⑧後援会の役員、推進委員、全国の世話人が尊く用いられるように。

